

平成30年度事業計画

1 はじめに

昨年度は、新幹線開業2年目となることから道南における観光客の入込数は若干の減少傾向と推察し、入館者数を2万人と見込んでおりましたが約18,500人となり、前年度との比較で約2,500人11.9%の減少と予想を上回る減少となりました。内訳として、個人入館者数は2.7%増の14,450人、団体入館者数は46.9%減の3,360人で大幅な減少となりました。要因として、団体は定観バスの運行ルート変更、観光事業者のツアー減少などが大きく影響していると推察しておりますが、個人客におきまして若干ですが伸びており今後に期待しているところです。

函館市の平成29年度上期における観光入込客数は、約338万2千人で前年同期との比較では約28万2千人7.7%の減少となり、バスと鉄道に限りますと273,700人で11.3%の減少となっており函館市の観光情勢に影響を受けている実情にあると考えております。

今年度は、北海道命名150年、戊辰戦争150年、明治150年、そして開陽丸沈没150年の節目の年にあたります。北海道では、北海道150年道民検討会議を設置し命名150年を節目と捉え北海道150年事業をスタートさせております。財団として、各事業に参加登録し事業のPRを図ることで入館者の確保に努めて参りたいと考えております。

また、町内関係機関と連携した首都圏誘致活動は2年を経過しましたが、少しずつですが成果も見られることから連携した取り組みを継続してまいります。

さらに、財団が設置・管理している地域交流施設（えさし海の駅）と資料展示施設（開陽丸記念館）は築28年目を迎え経年劣化が顕著であり早期の改修が大きな課題でありますので、今年度中に一定の方向性を示せるよう取り組んで参ります。

こうした状況を踏まえ、財団の安定的な運営を図るため職員上げて経営改善と入館者確保対策に取り組んでまいります。

2 事業の概要

(1) 経営方針

① 入館者対策について

今年度は、開陽丸沈没150年の節目の年であり財団のPR事業はもとより北海道150年事業登録推進効果、首都圏誘致対策効果などによる観光客増加を見込み総入館者数を2万人と見込みます。

<入館者対策>

- ・ 北海道150年事業登録し開陽丸事業のPR効果による集客に努める。
- ・ 開陽丸沈没150年記念事業を実施し集客に努める。
- ・ 町内関係団体と連携した首都圏誘致宣伝行動を実施し集客に努める。
- ・ 町内旅館業者、レンタカー事業者及び渡島桧山管内の道の駅に対し入館割引券とパンフレットのセットとポスターを配布し集客に努める。
- ・ 函館市内の観光施設等との連携による集客を模索したい。
- ・ ホームページとフェイスブックを活用し情報の発信による集客に努める。
- ・ 無料ガイドのPRによる開陽丸記念館の魅力向上に努める。(HP発信)
- ・ オプショナルツアーが主流であるが、ツアー観光客の入館誘導に努める。
- ・ 各種割引制度の拡充による入館者の確保に努める。
- ・ 遺物の展示等について、点検を行いながら効果的な配置に努める。

【小中学生の研修旅行】

- ・ 函館市内等入館実績のある中学校に対し礼状送付と研修入館継続の案内による集客確保に努める。
- ・ 渡島桧山管内の入館実績のない中学校に対し研修入館の誘致に努める。
- ・ 青森市内小学校に対して研修入館の誘致に努める。
- ・ 学校研修事業企画旅行事業者に対し研修入館の誘致宣伝の実施を検討する。

【情報発信の取り組み】

- ・ 写真資料、映像資料等の無料提供
- ・ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等を活用した情報発信と取材協力
- ・ 幕末関連観光施設等との連携協力

② えさし海の駅の活用について

- ・ 「江差町観光情報総合案内所」の充実整備に取り組み、観光客等に対するサービスの向上に努め、江差旅を楽しんでいただき「また来たい」といわれるような海の駅を目指します。
- ・ 今年度も、観光バリアフリーレジャー用品貸出事業を4月からスタートさせ、3年間の実績を精査し次年度以降の有料事業化を念頭に取り組みます。
- ・ 売店事業については、「ぷらっと江差」と連携し図録等の販売に努めます。

③ 開陽丸子孫の会との連携協力について

開陽丸沈没150年の節目の年であることから、開陽丸子孫の会（会長榎本隆充氏）と連携して記念事業が実施できないか協議検討してまいります。

(2) 青少年研修事業等の推進について

- | | | |
|------------|--------|--------------|
| ① 春と夏の研修事業 | ・ 事業名 | 「開陽丸をもっと知ろう」 |
| | ・ 対象 | 小・中学生 |
| | ・ 実施時期 | GWと夏休み期間 |
| | ・ 内容 | クイズと記念品 |
| ② 秋の研修事業 | ・ 事業名 | 「開陽丸入門」 |
| | ・ 対象 | 中学生以上一般 |
| | ・ 実施時期 | 10月・11月頃 |
| | ・ 内容 | 幕末・維新をテーマ |

(3) マリーナ指定管理業務

- ・ マリンスポーツ交流センター事業に係る業務が追加される。
 - ・ 江差港マリーナ指定管理業務の継続（現契約期間：H27.4.1～H31.3.31）
 - ・ 江差港マリーナの管理・運営（浮棧橋・ボートリフター）
- ※ 平成30年度は、浮き棧橋の改修工事が行われます。（7月末完成予定）
- ・ 周辺施設の管理・運営（徒渉池、遊漁池・ジャングルジム等）

- ・ ヨット競技大会及びマリンフェスタ事業等への連携協力

(4) 開陽丸友の会との連携

- ・ 友の会研修会等事業と、開陽丸沈没150年事業の連携実施を検討したい。
- ・ 21世紀新聞のホームページ活用（開陽丸沈没150年特集号の検討）
- ・ 友の会活動への連携協力（H28年度から事務局事務を補佐）

(5) 開陽丸関係資料の収集と整備

- ・ 開陽丸関係図書を購入保管に努める
- ・ 道南ブロック博物館施設等連絡協議会との連携

(6) その他

① 施設改修等

- ・ 開陽丸記念館甲板階段の一部修繕とボイラー室内の油通気配管の修繕

② 今後の理事会及び評議員会日程について、次のとおり予定します。

<今後の会議日程（予定）>

1 監事監査	平成30年 4月25日（水）午前10時
2 第1回理事会	平成30年 5月16日（水）午前11時
3 定時評議員会	平成30年 5月30日（水）午前11時